

大会申し合せ・競技上の注意事項

1 競技規則と競技方法

- (1) 本大会は、令和5年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び「本大会申し合せ事項」を適用する。
- (2) 予選リーグは11ポイント3ゲームマッチとし、2ゲーム先取とする。決勝トーナメント・決勝リーグについては、11ポイント5ゲームマッチ、3ゲーム先取とする。どちらも原則、消化ゲームは行わない。
- (3) JTTA 公認のユニフォームが望ましいが、白系以外のユニフォームであれば本大会の参加を可とする。白系のユニフォーム、または JTTA 公認以外のラケットを使用する際は、一度審判に申し出ること。
- (4) 原則として、競技区分と男女別に3人のリーグ戦で行うが、申込状況によりトーナメントにすることがある。
- (5) 身体的理由により、正規のサービスが困難な場合は主審に申し出ること。主審の判断により、サービスの規定を緩和することができる。
- (6) 知的部門についても、正規のサービスが困難な場合は相手に不利にならないと主審が認めた場合、サービスの規定を緩和することができる。
- (7) 何かしらの理由で試合の中断があった場合、1マッチでの中断時間は最大5分間とする。
- (8) 車いす使用者のサービスに関して、以下の場合が「レット」とする。
(レシーバーのコートでバウンドした後)
 - ① どちらかのサイドラインを横切ってコートを通じた場合
 - ② ボールがレシーバーのコートに触れた後、ネットの方向に戻った場合
 - ③ ボールがレシーバーのコートに止まった場合※但し「レット」がコールされる前に打球した場合は有効となる。
- (9) 車いす使用者がプレー中に、車いすのクッションと大腿後部が最小限の接触をしなかった場合、相手方のポイントとなる。
(例) 車いすのフットレスト等を使用して起立する場合、臀部が完全に浮き上がる行為は相手方のポイントとなる。
- (10) 車いすプレーヤーと立位プレーヤーの対戦におけるサービスについては、レシーブ側にルールが適用される。(車いす使用者のみ)
- (11) 肢体不自由者および知的障害については、フリーハンドが触れても失点としない。
※但し、コートを支えて打ったり、テーブルを動かしてはならない。
- (12) 促進ルール、タイムアウトのルールを適用しない。

2 会場への入館

- (1) 競技区分ごとに決められた受付時間より前に、試合会場に入ることはいできない。
- ※参加人数等により時間を変更する場合がありますため、参加決定通知書を必ず確認すること。

競技区分	入館時間
肢体不自由者の部	9:00～
車いす使用者の部	9:00～
精神障害者の部	9:00～
オープンの部	13:00～
知的障害者の部	13:00～

3 招集

- (1) 各コートの試合番号順に掲示および各コートの放送により招集する。
- (2) 試合コートに集合しない場合は、館内放送により再度呼び出しを行うが、5分を経過しても集合しない場合は、棄権とする。

4 その他

- (1) 使用球は日本卓球協会公認球(プラスチックボール40mm+ 白色 試合球)を使用する。
- (2) 選手が会場、試合コートから離れる場合は、競技進行に支障のないようにすること。
- (3) 競技時間は、進行状況により前後する場合がある。
- (4) 更衣は、体育館男子・女子更衣室を利用すること。(シャワーの利用可能)なお、ロッカー使用時は必ず100円硬貨により、施錠すること。(使用後、硬貨は返却される。)紛失などの責任は一切負わない。

- (5) 大会期間中における事故または傷病については、応急処置のみとする。その他の責任は負わないので、体調などは各自自己管理すること。なお、会場内で体調不良となった場合は、近くのスタッフに申告すること。
- (6) 写真撮影および動画撮影は原則禁止とする。
- (7) 手話通訳者を配置する。
- (8) 大会当日につきまして、マスクをご持参いただき、試合中のマスクの着用はご自身の判断によりますが、受付・休憩時等、特に会話をする時には、マスク（障害特性上、マスクの着用が難しい場合は口元、鼻を覆うもの）の着用にご協力ください。